

南中賛歌



←ホームページ

「美しくあいさつ 明るく歌声 そっとボランティア」

令和4年9月9日発行
文責 教頭 杉田 直樹



夏休みの練習風景

○英語弁論大会より

磐周中学校英語弁論大会が9月8日(木)に開催されました。本校からは、3年生の ○○○○ さんが出場しました。夏休みに学校へ来て、熱心に練習する姿をホームページでもお伝えしましたが、その努力が功を奏し、磐周地区で第5位、西部大会出場の資格を得ました。

身振り手振りを交えた表現力も素晴らしいですが、スピーチの内容も素晴らしいと感じました。ぜひご一読ください。(生徒の皆さんは、辞書を使って、自分で訳してみてください。)

“Let's Support Each Other”

○○○○(Toyoda-minami J.H.S.)

What memories do you have with your family? What is your best memory with your father? Is it going to the zoo together? Is it playing soccer together? When I was four years old, I lost my father. Because of this, I have no memories with him. But I remember clearly what happened to my family after he died.

My mother, big sister and I were so shocked by the loss of our family member that we couldn't think or concentrate on anything. We lost energy and got tired of going to work and school. At that time, many people supported us. I learned so much during that time.

When we couldn't even think about going shopping for food, my grandma brought us side dishes, such as nimame, simmered beans and sunomono, vinegared food, as often as weekly. The nimame made by my grandma always had a gentle taste. I realized that eating gives me energy to feel better.

Then, when I often cried, my neighbors took my sister and me to the sea and the amusement park. They took care of us as if we were their own daughters. Though I felt lonely, that feeling was disappearing little by little.

When my friends saw my sadness at nursery school, they told me, “Let's play together.” While we were playing tag and playing on the playground equipment together, I no longer felt sad. I felt extremely happy.

My family could regain our usual daily life because those kind people helped us. Because of that, I also wanted to make people happy and help others. And, I wanted to return the favor to the people who encouraged us.

However, I didn't know what exactly I was going to do for others. I wondered how I should act for other people. Then, I realized that I should just make people smile. I started trying to talk to my friends with a smile. My friends often say to me, “You always smile, so I can feel better.”

In the world, there are a lot of people who need help in many ways. Those who risk their lives in war. Those who suffer from starvation. It is necessary to think about how to help such people. But, at first, I want to help the people close to me. I'm sure that there are people close to us who need help. People who have trouble getting along with their friends. People who are worried about their own paths in life. People who are afraid of making mistakes in class or club and being laughed at by their friends. I believe those people will be happy when we understand their feelings of anxiety and support them. Why don't we talk to them, listen to them and encourage them? Then, we can support each other.

I'll never forget that I was supported by people around me when my father died. I want to create a world where everyone can support each other.



あなたは、家族とどんな思い出がありますか。あなたのお父さんとの一番の思い出は何ですか。いつしよに動物園に行ったこと？いつしよにサッカーをしたこと？私は、私が4歳のときに父を失いました。そのため、私には父との思い出がありません。しかし、私は、父を失くした後のことを鮮明に覚えています。

母と姉と私は、大切な家族を失ったことに対するショックから、物事に集中できなくなり、何も考えられなくなりました。私たちは氣力を失い、会社や学校、保育園へ行くことがいやになりました。そんなとき、たくさんの人たちが私たちを支えてくれました。そして、私は大切なことに気がきました。

私たちが食べ物を買に行くことさえ考えなかったとき、おばあちゃんは、毎週のように豆の煮物や酢の物のようなおかずを持ってきてくれました。おばあちゃんの作る豆の煮物は、いつも優しい味がしました。私は、食べることで元気になる力が湧くことに気がきました。

また、私が泣いてばかりだったとき、近所の人達は私と姉を海や遊園地に連れて行ってくれ、私たちを実の娘のようにかわいがってくれました。私はさみしさを感じていましたが、その気持ちは少しずつなくなっていました。

そして、私が悲しみを感じながら保育園に行ったとき、友達は「いつしよに遊ぼう。」と誘ってくれました。友達と鬼ごっこをしたり、遊具で遊んだりしているときには、悲しみを忘れ、心の底から楽しいと感じました。

私たち家族は、そんな優しい人たちのおかげで日常生活を取り戻すことができました。そして、私も、こんなふうになれかを助けたい、喜ばせたいと思いました。また、私を元気づけてくれた人たちに恩返しをしたいと考えるようになりました。

しかし、何をすればいいのかわかりませんでした。何をすればいいのか考えていたとき、私は人を笑顔にしたらいんだと気づきました。その時から、私は笑顔で友達と話すようになりました。すると、「いつも笑っているから、私も元気になる。」と言ってもらえることが増えました。

世界には、いろいろな形で助けを必要としている人たちがいます。戦争で命すら危険にさらされている人。飢えに悩まされている人。そんな人のことを考えることも必要です。でも、私は、まず、自分の身近な人の支えになりたいと思います。きっと、私たちの周りには助けが必要な人がいると思います。友達とうまくいかずに悩んでいる人。自分の進路について悩んでいる人。授業や部活で失敗して、友達に笑われないか心配している人。その人たちは、自分の気持ちを理解してもらったり、不安な気持ちを支えてもらったりしたら、きっとうれしいと思います。私たちは、その人たちに声を掛け、気持ちを聞き、応援してあげることができるのではないのでしょうか。そうすることで、私たちはお互いに支え合うことができるのではないのでしょうか。

私は、父が死んで、周りの人に支えられたことを忘れません。みんなで支え合える世の中にしていきたいと思います。

○公衆電話撤去のお知らせ

職員室西側の廊下に設置してある公衆電話ですが、NTTより、「利用の少ない公衆電話(月額4000円未満)」の中でも極めて利用の少ない状態(月に数百円の利用)であることから、廃止するとの連絡がありました。9月15日(木)に撤去されます。今後、家庭へ連絡する必要が生じた場合、生徒は学年職員の許可を得て、職員室の電話を使用することになります。その場合、かえって事務手続きが煩雑になることから通話料は徴収いたしません。ご理解の程よろしく願います。

